



朝九小だより

朝霞市立朝霞第九小学校

令和8年 5月29日 (金)

6月号

児童数 461名

TEL: 048-466-4481



【学校教育目標】

<http://www.asakadai9shou.city-asaka.ed.jp>

「心豊かでたくましい人間の育成」 すすんで学ぶ子 思いやりのある子 たくましい子

【めざす学校像】「元氣なあいさつと明るい笑顔で輝きのある学校」

「元氣なあいさつと明るい笑顔で輝きのある学校」

～よい雰囲気の集団であるために～

校長 吉澤 めぐみ

5月14日、15日に、6年生が日光方面へ修学旅行に行ってきました。あいにくの雨で戦場ヶ原の散策はできませんでしたが、荘厳な日光東照宮、華嚴の滝、露天風呂、朝の湯の湖への散歩、鹿や猿との出会いなど、1泊2日の日光観光を満喫することができました。

また、添乗員の方、バスガイドさん、ホテルの方々からは、「挨拶ができるすばらしい学校ですね」とお褒めの言葉をいただきました。6年生が、「元氣なあいさつと明るい笑顔でかがやきのある学校」を体現してくれたことを大変うれしく思います。

私も4月から毎朝正門に立ち、子供たちに朝の挨拶をしています。しっかり目を見て挨拶をする子、大きな声で挨拶をする子、笑顔で挨拶をする子、声は小さいけれど頭を深々と下げる子など挨拶の仕方はさまざまですが、多くの子供たちが気持ちのよい挨拶をすることができます。

一緒に正門で交通指導してくださるシルバーの方も九小の子供たちの挨拶を褒めてくださいます。ある日、シルバーの方が子供たちの挨拶の仕方にある法則を見つけたと話してくださいました。

それは、「登校班の班長さんが元氣な挨拶をすると、班の皆も元氣な挨拶をする」ということです。反対に先頭の班長さんが挨拶をしないと、後に続く班員は挨拶をしないかったり、小さな声で挨拶をしたりするそうです。

班長さんが挨拶をすると、班の中で「挨拶をするのが当たり前」という雰囲気が生まれ、その空気が班全体に広がり、元氣な挨拶につながっているのでしょう。子供たちには、互いにより影響を与え合いながら、よい行動が自然と広がっていく、そんな「いい雰囲気の集団」であってほしいと思います。



職員室前の廊下掃除をしていた2年生の掃除当番はよい雰囲気をつくっていました。私語もせず、もくもくと掃除に取り組む姿が立派でした。

これは、普段の言葉遣いにも同じことが言えます。最近、少し気になるのは、友達同士で乱暴な言葉や相手を嫌な気持ちにさせる言葉を使ってしまう場面が見られることです。一人が使い始めた言葉は、知らず知らずのうちに周りにも広がっていきます。そして、そのような雰囲気が集団全体に広がってしまうことがあります。だからこそ、相手を思いやる言葉や、温かい言葉が自然に交わされる集団であってほしいと願っています。

今月の歌は「すてきな友だち」でした。歌詞にもあるように、友達のよさを認め合い、支え合える関係はとても大切です。子供たち一人一人が、友達に優しく接し、互いにより影響を与え合いながら、「すてきな友だち」同士でいてほしいです。そして、「元氣なあいさつと明るい笑顔で輝きのある学校」をみんなで作っていききたいと思います。

